

各位

上場会社名	東亜ディーケーケー株式会社
代表者	代表取締役社長 佐々木 輝男
(コード番号)	6848)
問合せ先責任者	常務取締役 玉井 亨
(TEL)	03-3202-0211)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年4月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,200	430	400	200	10.08
今回修正予想(B)	6,450	670	700	380	19.16
増減額(B-A)	250	240	300	180	
増減率(%)	4.0	55.8	75.0	90.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	6,059	521	525	267	16.46

平成24年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,800	450	260	13.11
今回修正予想(B)	5,950	620	390	19.66
増減額(B-A)	150	170	130	
増減率(%)	2.6	37.8	50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	5,600	444	260	16.02

※上記の予想は現時点で得られた情報に基づき算定されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

#### 修正の理由

##### 1. 連結業績予想

当第2四半期連結累計期間の業績は、(1) 経営改革の安定化、(2) 震災復旧協力特需、(3) 超円高という3つの要因により、売上高では概ね計画を上回るペースで推移し、利益面では大幅な増益を達成する見込みとなりました。

この大幅な増益の具体的要因は次のとおりです。

(1) 継続して進めている全社全領域での改革運動が浸透し、利益創出の体質改善が進み、安定の域に達した。

(2) 震災時の難入部材確保に一定のコスト増を見込むも、結果としてその影響は軽微であり、また、電力・石油・製紙分野を中心に震災復旧・復興支援需要に伴う一定の受注を確保できた。

(3) 超円高に伴い海外売上高は苦戦しているが、一方で、当社が国内総代理店を務める米国ハック製品の国内輸入販売に係る為替差益においては有利に展開し、営業利益を押し上げる一因となった。

以上の結果、中間期の業績が想定を上回る見込みとなりましたので、平成23年4月27日公表の業績予想を修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、震災復旧・復興支援需要が下期にも期待されており、増収増益基調で推移するものと予想していますが、超円高などの景気不安定要素もあり、より具体的な見通しが判明した時点で、改めてお知らせする所存です。

##### 2. 個別業績予想

連結業績予想の修正と同様の理由であります。